学校番号	3015

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史Ｂ」（実教出版）						
副教材等	新詳日本史（浜島書店）、４ステージ演習ノート日本史Ｂ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

豊かな人生を送って欲しい。その為に、歴史で学んでほしい事は次の３つ。

①日本の文化や伝統への認識を深めて欲しい。

私たちが生きている「日本」は、どの様な歴史を辿って今に至っているのか？理解を深め、自分たちの身の回りにある文化財や制度、価値観、伝統について、その考えを深めて欲しい。

②物事を色々な視点で捉えられるようになってほしい。

「松方財政」は、零細農民にとっては生活を逼迫させる「負の出来事」と捉えられたが、起業家にとっては企業勃興がおこるきっかけともなった「正の出来事」である。このように、物事は常にそれに関わる利害関係者の立場によって、その評価を大きくかえる。日本の歴史の中では、様々な課題とその解決を巡って立場の違いから対立が続いてきた。その対立について、それぞれの立場について理解する視点を養って欲しい。君たちが利害関係者となって、社会の中で対立に直面する時、多面的な視点を持って、課題解決を目指す態度や力を身につけよう。

③論理的な思考力を身につけて欲しい

歴史を学ぶ上で重要な事は、物事の原因や背景、結果、影響を頭の中で整理しながら理解する事。テスト前に丸暗記してテストの点数を稼ぐことも重要ではあるが、是非こうした視点で、日本史を学んでほしい。

2　学習の到達目標

◆歴史の流れ、因果関係を理解する。
◆各時代の特色と、各時代の文化的特色を関連付けて理解する。
◆史料をもとに、その時代の社会の変化について考える力を身につける。
◆理解した歴史的事象について、多面的・多角的または、より高次の視点で整理し、理解する。
◆歴史にかかわる事象の中から、社会の課題を把握し「課題解決」の視点で歴史を眺める

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	◆歴史上の諸事象から課題を見出す事ができる。 ◆主体的に調べ、分かろうとする態度を持っている。 ◆多面的・多角的な考察を通じ我が国の歴史・文化を尊重する態度が身についている。	◆趣旨が明確になるように、内容構成を考え、自分の考えを論理的に説明する事ができる。 ◆歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に様々な意見や立場を把握し説明する事ができる。	◆我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	◆文化遺産・伝統と文化の特色・国際関係の変化などの歴史的な事柄と歴史上の人物との関わりについて理解している。
評価方法	レポート ワークシート ノート提出	レポート ワークシート 定期考査	レポート ワークシート 定期考査	レポート ワークシート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	原始・古代	1 日本文化のあけぼの ・日本最古の文化 ・縄文時代の社会と文化	○	○			a 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立を自然環境の変化や大陸からの影響に着目してとらえることができたか。 b 黒曜石などの考古資料を提示し、集落・風習・食生活の変化などをふまえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察できたか。	ワークシート ノート提出 定期考査
		2 水稲農業の開始と社会生活の進展 ・弥生時代の社会と文化 ・小国の分立と邪馬台国 ・ヤマト政権の成立・発展と東アジア ・古墳の成立と発展 ・大陸文化の摂取	○	○	○ ○ ○		a 水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を弥生土器や発掘された農具から考察できたか。 b 小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、国内外の情勢をふまえて多角的に考察できたか。 c 古墳やそれに伴う石室の形状や大きさなどの変容からヤマト政権成立までの過程を考察できたか。 c 大陸文化の受容をふまえ、ヤマト政権の成立をとらえることができたか。	
		3 東アジア文化の影響と律令制度の成立 ・推古朝の政治と飛鳥文化 ・律令国家成立期の政治と文化 ・律令体制とその実態 ・天平文化		○	○ ○	○	d 台頭する蘇我氏と厩戸王を中心とする朝廷の対立や飛鳥文化の形成について、仏教の受容や遣隋使・遣唐使などの大陸との交流をふまえて考察できたか。 b 政界における藤原氏の進出、初期荘園の誕生などをふまえて考察できたか。 c 盛唐文化の受容をふまえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察できたか。	
		4 摂関政治と国風文化 ・平安初期の政治と文化 ・摂関政治と地方の動向 ・国風文化			○	○ ○	c 真言宗・天台宗などの密教に着目して、唐文化を吸収し、密教芸術が生まれた弘仁・貞観文化の意義を理解できたか。 d 藤原北家の発展過程を理解し、政務のあり方や儀式など律令体制の変容をとらえて、摂関政治を考察できたか。 d 浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達に着目して、貴族の生活・文化を理解できたか。	

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	中世	5 中世社会の成立と文化の新機運 ・荘園公領制の形成と武士団 ・院政と平氏政権 ・鎌倉幕府の成立 ・武家政治の展開 ・鎌倉武士と農村生活 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	○	○ ○	○ ○ ○	○	a 荘園公領制が明確化されたことをふまえて、院政の政治構造や社会を理解できたか。 c 武士の影響力の拡大や平氏政権における日宋貿易の展開、地方文化の発展をふまえ、武家政権の成立過程を把握できたか。 d 源平の争乱から鎌倉幕府成立までの過程を理解することができたか。 b 北条氏が執権政治を確立していくことをふまえ、武家政権の形成を見ることができたか。 c 蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退につながっていくことを理解できたか。 c 鎌倉新仏教の成立により庶民や武士の活動が活発化し、文化の新しい機運が生まれたことを理解できたか。	ワークシート ノート提出 定期考査
2学期		6 武家社会の展開と室町文化 ・南北朝の動乱 ・室町幕府の政治と外交 ・惣村の発展と応仁の乱 ・室町文化 ・戦国大名の領国経営	○	○ ○		○ ○	b 鎌倉幕府の滅亡、建武の新政をふまえて南北朝の動乱を考察できたか。 b 守護大名などに着目して室町幕府の機構の確立について理解できたか。 a 応仁の乱を、その後の影響にも着目して考え、惣村の形成や土一揆の発生など力強い庶民の活動をふまえて、幕府の衰退を考察できたか。 d 南北朝・北山・東山文化を、武家・公家文化の融合、禅文化の果たした役割などをふまえ、能・狂言・茶の湯・生花などを例にとり理解できたか。 d 領国統治を強化して富国強兵策を推進した戦国大名、堺や博多に見える都市の発展の原動力となった庶民の力をふまえて戦国時代の始まりを考察できたか。	

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	近世	7 幕藩体制の展開と近世の文化 ・ヨーロッパ人の来航 ・織豊政権 ・桃山文化 ・幕藩体制の成立 ・鎖国 ・近世の生活と文化	○	○	○ ○	○ ○	a 鉄砲やキリスト教の伝来、南蛮貿易の展開をふまえてヨーロッパ世界との接触とその影響について考察できたか。 c 幕藩体制とのつながりに着目して、検地や刀狩に見られる兵農分離策をふまえて、織豊政権の統一過程とその政策を考察できたか。 d 桃山文化が幅広い国際性を持ちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、秀吉の朝鮮侵略や南蛮文化にも着目して考察できたか。 b 江戸幕府の民衆統治のシステムを理解できたか。 d 江戸幕府の外交制限政策について、単なる対外貿易の遮断ではなく、周辺諸国との関係のあり方も含め、その影響と歴史的意義について理解できたか。 c 寛永期の文化を、幕藩体制確立という時代背景をふまえて理解できたか。	ワークシート ノート提出 定期考査
		8 幕藩体制の動揺と文化の成熟 ・幕府政治の転換 ・経済の発展 ・学芸の発展と元禄文化 ・幕藩体制の動揺と幕政の改革 ・欧米列強の接近と天保の改革 ・江戸中・後期の文化	○	○ ○	○	○ ○	a 文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治を取り上げ、幕政の安定過程を考察できたか。 b 農業・商工業のなどの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割をふまえて理解できたか。 c 元禄文化について、文学・学問・美術をふまえて考察できたか。 b 享保改革の諸政策とその成果、田沼時代の経済発展を理解し、文化の発展も関連づけて把握できたか。 d 列強の接近に伴う対外政策と天保の改革・諸藩の改革を考察し、幕府の衰退を理解できたか。 d 化政文化について、学問・思想・美術・生活文化の新たな展開に着目して、文化の中心であった江戸はもとより地方文化の成長にも留意して考察できたか。	

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	近・現代	9 近代への転換 ・開国 ・明治維新 ・四民平等と富国強兵 ・初期の外交と国内政治 ・文明開化 10 近代国家の形成 ・民権運動の展開 ・立憲政治への道 ・初期議会と日清戦争 ・政党の進出と日露戦争 ・産業革命と社会の変化 ・近代文化の形成と展開	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○	d 日米和親条約・日米修好通商条約の締結、開港による経済情勢の変化に着目して、幕末の政局の転換を理解できたか。 d 公武合体、尊王攘夷運動、討幕運動に着目して、近代国家の基盤の形成となる明治維新の意義を理解できたか。 b 明治新政府の諸制度の改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一課程を理解できたか。 a 欧米文化の導入による文明開化と、欧米諸国と同様の姿勢をとるようになったアジア政策など、多面的・多角的にその影響をとらえることができたか。 b 国民の政治的関心の高揚や、欧米諸国以外では初めて制定された大日本帝国憲法の意義についても理解できたか。 a 日本が近代国家として国際的地位を確立するため、条約改正やそれに伴う諸法典の整備など国内体制の確立を図り、朝鮮問題を機とする日清戦争により欧米に近づこうとした点について理解できたか。 d 立憲体制成立後から第一次世界大戦にいたるまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の抗争などの視点から理解できたか。 b 殖産興業政策を基盤に、産業基盤の整備の進行、繊維・軍需産業の発展、重工業の形成などに着目して資本主義の確立過程を総合的に理解できたか。 d 寄生地主制の進展、ストライキの勃発や足尾鉱毒事件などにみられる社会運動の発生、それに対する大逆事件などの弾圧に着目できたか。また、出版・交通・通信などの面で生活様式が近代化した身近な例を見つけられたか。 d 伝統的な文化のうえに欧米文化を取り入れ、国民的な性格を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点を持って理解できたか。	ワークシート ノート提出 定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	近・現代	11 両大戦の日本と市民文化 ・第一次世界大戦 ・大戦後の内外環境 ・政党政治の展開 ・市民文化の展開		○	○	○ ○	b 第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況をふまえて考察できたか。 d 第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて理解できたか。 d 普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣成立に至るまでの意義について理解できたか。 c 都市化や国民生活の変化をふまえて、市民文化の特色について理解できたか。	ワークシート ノート提出 定期考査
		12 十五年戦争と日本 ・満州事変 ・日中戦争 ・アジア・太平洋戦争	○	○		○	b 満州事変から国際連盟の脱退に至る日本の対外政策について、国内の状況もふまえて理解できたか。 d 日中戦争・第二次世界大戦時下の経済と国民生活・文化など、様々な角度から考察することができたか。 a 太平洋戦争を含む第二次世界大戦が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識できたか。	
		13 現代の日本と新しい文化 ・占領と民主改革 ・サンフランシスコ講和会議と安保体制 ・高度経済成長下の日本 ・経済大国日本と国民生活 ・世界史の転換と日本	○ ○ ○	○		○ ○	d 占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その過程と内容を理解できたか。 a 日本の独立国としての主権回復の意義と、安全保障をアメリカに依存する日米安保条約の締結の意味を理解できたか。 d 経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察できたか。 b 経済大国への道には、国民の努力によって築かれた豊かさ、ODA などの社会貢献の重要性、貿易摩擦や円高への対応などがあったことに着目できたか。 a 冷戦終結後の東欧革命、55 年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などを取り上げ考察できたか。	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。